

札幌市ソーシャルビジネス事業力強化支援事業 対象者

フリガナ 企業・商号・組織 名称	シエンケイカク しえん計画
フリガナ 代表者氏名 (個人事業主氏名)	カネコ タクシ 金子 武史
所在地	〒 065-0026 電話 011-743-4477 札幌市東区北26条東1丁目 4番15号 205
業種	介護・防災用品の製造販売
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自身で考案・開発した介護・防災用品である『いすたんか』を製造します。 ・『いすたんか』を広く普及させることをめざし、一般家庭・各種施設・自治体や地域活動組織・事業所等に、販売します。

セールスポイント

【事業により解決を目指す社会・地域的課題の内容、その理由など】

課題1【自宅にこもる歩行困難者】

・お年寄り、障がいを持った方など、自分の意志で自由に移動・外出ができない歩行困難者。そのままでは社会とは隔離されがちになってしまいます。

⇒【様々な人が対等な構成員として参画する豊かな社会へ】

・『いすたんか』を使用することで、彼ら歩行困難者に室内の移動や外出の機会を保障し、健康的な生活習慣と社会参加を促します。

課題2【歩行困難者＝災害時要援護者（避難行動要支援者）】

・災害時においては、お年寄りや障がいを持った方は、逃げ遅れにより健常者に比べ人的被害が格段に増加する傾向にあります。

⇒【すべての人が安心して暮らせる災害に対して憂いのない社会へ】

・災害の際にも、要支援者の迅速な避難に『いすたんか』は役立ちます。
自治体や地域の防災計画のなかで『いすたんか』を取り入れてもらうことは、日々の生活に安心をもたらします。

課題3【地域の問題】

・北海道の地理、介護・防災へのコスト

⇒【北海道の介護・防災に】

・四方を海に囲まれた北海道の津波対策、冬季の雪道にも対応できる設計、低コストにつながるシンプルな構造。『いすたんか』は北海道にも適した介護・防災用品です。

【社会的ミッションの達成に向けて、想定している事業の「内容」や「仕組み」など】

- ・自身の考案した『いすたんか』を、北海道工業試験場などの施設や地元（札幌市東区）の企業の協力を得て商品化しました。
- ・無理なく継続できる事業形態を考え個人事業として開業しました。
- ・販売方法として、直接販売、ネット販売のほか、道内外の企業に代理店として協力を得ています。
- ・資金として各種助成金制度を積極的に利用し、2012年度は所属する札幌商工会議所より「創業者助成金」の交付を受けました。
- ・昨年度に引き続き、さっぽろソーシャルビジネス事業力強化支援事業の対象者として、札幌市の支援を受けています。
- ・宣伝に関してはメディアや各種認定制度を活用しています。
2013年12月～『北海道新製品トライアル制度』認定商品。
2014年『北海道福祉のまちづくり賞（福祉用具部門）』を受賞。
TVH・STV・HTB・北海道新聞・北海道建設新聞等、各種メディアで取り上げていただきました。
- ・各種展示会へも出展しております。
2011年・2013年・2014年『いきいき福祉・健康フェア』
2013年・2014年（予定）『さっぽろソーシャルビジネス見本市』
- ・道内外の企業・NPO団体との連携を深め、協力体制を確立するなかでいすたんかの普及を目指します。

<ご参考>



○いすたんか



○実際に使用している様子

【事業の将来ビジョンや目指している姿、札幌のまちや社会をどのように変えていきたいか、など】

【様々な人が対等な構成員として参画する豊かな社会へ】

【すべての人が安心して暮らせる災害に対して憂いのない社会へ】

- ・上記の目的のために、適切な移動補助道具の使用・配備が不可欠です。
そのための、低コストで簡単に使用できる用具を開発・製造・販売していきます。